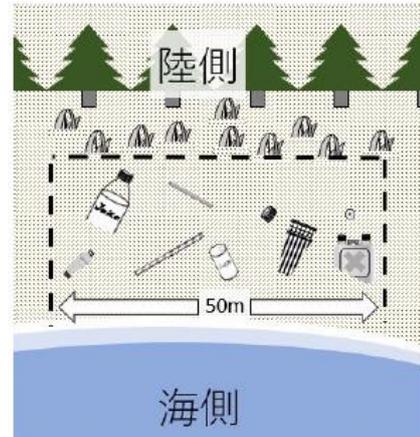


令和5年度海岸漂着物実態調査の結果（概要）

県内海岸における漂着物の経年的な組成と量の推移等を把握するために、組成調査を実施

【調査時期】 令和5年12月（冬季）

【調査地点】 4地点（下関市、防府市、長門市、周防大島町）



【調査結果】

- ・漂着物の個数比では、いずれの地点でもプラスチックの割合が高かった。
- ・各調査地点における主な漂着物は、以下のとおり。

海岸	主な漂着物
神浦海岸（周防大島町）	カキ養殖用資材など
中浦海岸（防府市）	カキ養殖用資材、ロープ等の漁具など
武久海岸（下関市）	ロープ等の漁具、食品容器包装など
大浦海岸（長門市）	ロープ等の漁具、国外のボトル容器など

- ・過年度（R1～R4）の個数と比べると、令和5年度は、前年度より減少したが、令和2、3年度と同等の漂着量であった。

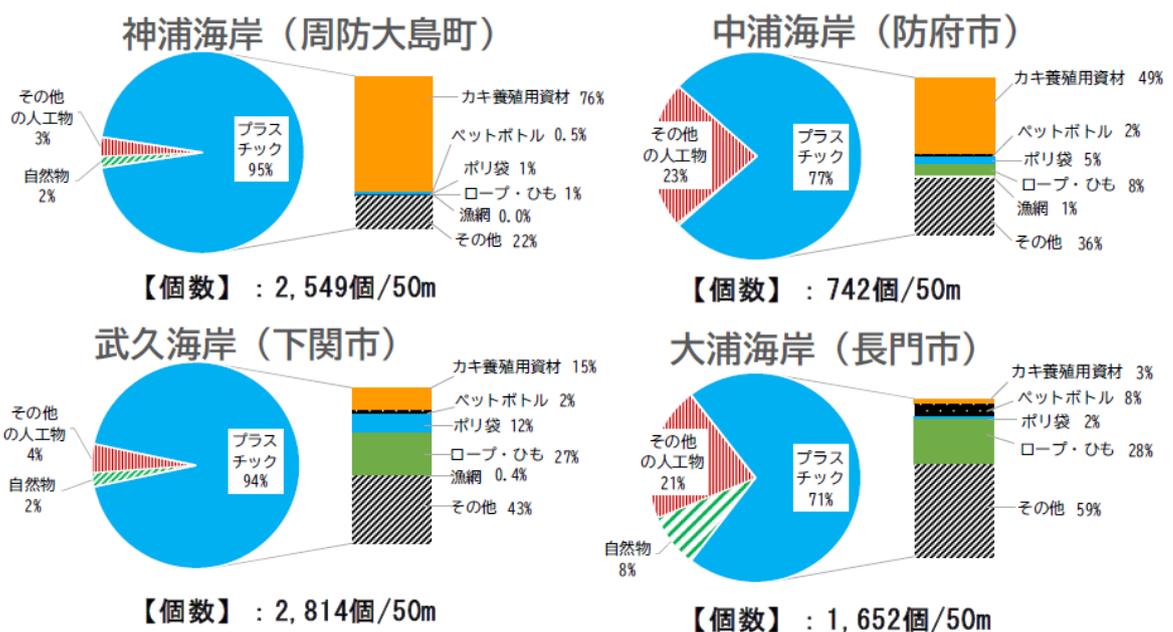


図 海岸漂着物の組成（個数）